

5種

4種混合+ヒブ

混合ワクチン



対象者: 生後2か月～7歳6か月になる前日まで

※初回1回目で5種混合ワクチンを選択した場合、4種混合・ヒブの接種はありません。すでに、4種混合又はヒブを接種した方は、同一のワクチンで接種を完了してください。

4種混合ワクチンで予防できる病気

🦠 ジフテリア

ジフテリア菌がのどや鼻に感染し、高熱、のどの痛み、食べ物を飲み込むときの痛みや不快感が最初に現れ、その後のどや扁桃腺に白・灰白色の膜ができて窒息することもあり、また突然心筋障害で死亡することや、神経麻痺を起こすこともあります。

🦠 破傷風

破傷風菌は世界中の土の中や動物の糞便中に広く存在し、傷口などから感染します。菌の出す神経毒素により、主症状は筋肉のけいれんで「口が開かない」という症状が多く、その後、全身のけいれんを起こし、呼吸困難や嚥下障害(飲み込みに障害をきたすこと)から肺炎などを併発し死に至ることもあります。

🦠 百日咳

百日せき菌によって起こり、風邪症状から始まって、その後は連続性の激しい発作性の咳へ進行します。笛が鳴るような呼吸音が聞こえる「けいれん性吸気」は特徴的な症状です。6ヶ月未満で予防接種を受けていない児は重症化しやすく、無呼吸発作や脳症を合併し、死を招くこともあります。

🦠 ポリオ

ポリオウイルスの感染により、中枢神経系の主に運動神経細胞が障害されて起こる病気です。初期症状としては発熱が多く、数日後に急に麻痺が現れます。ポリオによる麻痺は後遺症につながります。呼吸筋の麻痺が原因で死を招くこともあります。

🦠 ヒブが原因で起こる病気

気管支炎、肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、細菌性髄膜炎、敗血症、急性咽頭蓋炎、細菌性関節炎などの重い全身感染症を起こします。その中でも細菌性髄膜炎の割合が多く、その半分以上はヒブが原因といわれています。

<予防接種スケジュール>

接種年齢	回数	接種間隔
生後2か月～ 7歳6か月 になる前日まで	4回	<p>初回接種</p> <p>追加接種</p> <p>1回目 → 20日以上あけて → 2回目 → 20日以上あけて → 3回目 → 6ヶ月以上あけて → 4回目</p> <p>*標準は27日以上あける</p> <p>*標準は1年～1年半後</p>